

## 紙飛行機

鶴居村教育委員会教育長 村上明寛

♪人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで行くよ  
風の中を力の限り ただ進むだけ  
その距離を競うより  
どう飛んだか どこを飛んだのか  
それが一番大切なんだ

この生徒会誌が発行されるのは卒業式のころ  
と思います。3年生の皆さん、卒業おめでと  
うございます。令和初の卒業式。卒業ソングは何  
だったのでしょうか。YELL、3月9日、桜  
など定番は数多くありますが、こういうのもあ  
りましたね。秋元康作詞の「365日の紙飛行  
機」。2015年の作品です。

その43年前。井上陽水作詞の「紙飛行機」

♪白い紙飛行機 広い空をゆらりゆらり  
どこへ行くのだろう どこに落ちるのだろう  
今日は青空が隠れている  
風が吹いてきたよ 風にうまくのれよ  
だけどあまり強い風は 命取りになるよ  
雨が降ったら弱い翼はぬれてしまう

私が中学生のころの紙飛行機と皆さんの時代  
の紙飛行機には、こんなに大きな違いがありま  
す。私の中学時代の紙飛行機は、主体性がな  
く、風まかせ、成り行き任せ。そして無理する  
なよって。一方、皆さんの時代の紙飛行機は、  
主体的で自立的で意図的です。

この違いはなぜ？私の考えはこうです。19  
72年の「紙飛行機」の背景には、60年代の  
高度経済成長を経て、学校教育も「教育内容の

現代化」を目指し、少し窮屈な時代だったよう  
です。だからこそ、風任せ的な状況に一種の憧  
れをもつ風潮だったのではないのでしょうか。

転じて、「365日の紙飛行機」の時代はど  
うでしょうか。グローバル化、高度情報社会、  
人口減少社会…時代を表す言葉もたくさんあ  
り、人々の考えも多様化し、先の見えない時  
代、答えのない時代といわれています。だから  
こそ、「予測できない変化に受け身で対処する  
のではなく、主体的に向き合って、関わり合  
い、その過程を通して自らの可能性を發揮」す  
ることが求められているのだと思います。

こんなややこしい話をすると、高校生活に不  
安を抱く人もいるかもしれません。でも、そん  
な心配は要りません。皆さんには、鶴居村で培  
われた豊かな心、鶴居村で育まれた健やかな  
体、鶴居村で身に着けた確かな学び、という大  
きな備えがあります。自信をもって、次のステ  
ップへ進んでください。

それと、一つお願いがあります。鶴居村に住  
みながら高校に通う人も多くいると思います。  
高校生になったら、鶴居村に高校生として興味  
関心をもってください。若い感性と前例にとら  
われない発想で鶴居村を「探究」してくださ  
い。それが地域づくりの一翼を担う第一歩にな  
ります。教育委員会としても、そういった場や  
機会をつくっていきたいと考えています。

最後にキロロの「未来へ」の一節

♪ほら 足元を見てごらん  
それがあなたの歩む道  
ほら 前を見てごらん  
あれがあなたの未来